

## 上天草市公共施設に関するアンケート調査結果

本市の公共施設のあり方を検討するうえでの参考資料とするため、以下のとおり、市民のみなさまに公共施設に関するアンケートを実施しました。

市民のみなさまにおかれましては、アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

- |        |                                         |
|--------|-----------------------------------------|
| 1 調査期間 | 令和3年12月20日～令和4年1月27日                    |
| 2 調査対象 | 住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の上天草市民<br>(1,000人) |
| 3 回答者数 | 320人(回答率32%)                            |
| 4 質問数  | 13問                                     |

問1 あなたは、過去1年間に、以下の公共施設をどのくらい利用していますか？  
施設機能ごとに1つ選んで番号に○を付けてください。

施設分類	施設例  各施設分類にどのような公共施設が当てはまるのかについては、別紙「上天草市の地区別公共施設一覧表（参考）」を参考に回答してください。	1・ ほぼ 毎日 利用 している	2・ 週に 数回 利用 している	3・ 月に 数回 利用 している	4・ 年に 数回 利用 している	5・ 過去 一年 以内 には 利用 して いない	6・ 今 まで 一度 も 利用 した こと がない
文化施設	天草四郎ミュージアム など	1	2	3	4	5	6
社会教育施設	大矢野森記念図書館、中央図書館、姫戸図書館、龍ヶ岳図書館	1	2	3	4	5	6
スポーツ・レクリエーション施設	大矢野総合体育館、松島総合センターアロマ、スパ・タラソ天草、前島観光拠点施設、各キャンプ場、各体育館 など	1	2	3	4	5	6
商工観光施設	さんばーる など	1	2	3	4	5	6
義務教育等施設	小学校、中学校（校内の体育館を含む。）	1	2	3	4	5	6
子育て支援施設	公立保育園、こども未来館 など	1	2	3	4	5	6
福祉施設	老人福祉センター、陶芸館 など	1	2	3	4	5	6
医療保健施設	上天草総合病院、教良木診療所、湯島へき地診療所	1	2	3	4	5	6
行政施設	上天草市役所大矢野・松島庁舎、姫戸・龍ヶ岳支所、各出張所	1	2	3	4	5	6

■ 問1の回答結果

	集会施設	文化施設	社会教育施設	スポーツ・レクリエーション施設	商工観光施設	義務教育等施設	子育て支援施設	福祉施設	医療保健施設	行政施設
ほぼ毎日利用	1	0	0	5	4	10	8	1	4	6
週に数回利用	14	0	0	20	35	5	1	2	2	2
月に数回利用	26	0	18	23	105	10	2	8	27	43
年に数回利用	96	8	34	95	119	35	8	36	111	206
過去一年以内の利用無し	122	131	101	104	35	153	87	98	80	38
一度も利用したことがない	51	168	153	65	14	95	202	166	87	15
未記入	10	13	14	8	8	12	12	9	9	10

- ・施設利用に関し、ほぼ毎日利用と回答した人は全施設で延べ39人（1.2%）、週に数回利用と回答した人は全施設で延べ81人（2.5%）いた。
- ・利用が高い施設は、商工観光施設263人（82.2%）、行政施設257人（80.3%）、医療保健施設144人（45.0%）の順である。
- ・過去一年以内の利用がない施設は、義務教育施設153人（47.8%）、文化施設131人（40.9%）、集会施設122人（38.1%）の順である。
- ・一度も利用したことがない施設は、子育て支援施設202人（63.1%）、文化施設168人（52.5%）、福祉施設166人（51.9%）の順である。

問2 問1で「1. ほぼ毎日利用している」「2. 週に数回利用している」「3. 月に数回利用している」「4. 年に数回利用している」と回答された方にお伺いします。あなたが利用している施設は、どの場所にありますか？  
施設機能ごとに1つ選んで番号に○を付けてください。

施設分類	施設例  (各施設分類にどのような公共施設が当てはまるのかについては、別紙「上天草市の地区別公共施設一覧表(参考)」を参考に回答してください。)	1	2	3	4
		・同じ旧大字内にある*	・同じ町内にある	・隣の町にある	・隣の町ではないが、市内にある
集会施設	多目的集会施設、集会所、コミュニティセンター、公民館 など	1	2	3	4
文化施設	天草四郎ミュージアム など	1	2	3	4
社会教育施設	大矢野森記念図書館、中央図書館、姫戸図書館、龍ヶ岳図書館	1	2	3	4
スポーツ・レクリエーション施設	大矢野総合体育館、松島総合センターアロマ、スパ・タラソ天草、前島観光拠点施設、各キャンプ場、各体育館 など	1	2	3	4
商工観光施設	さんばーる など	1	2	3	4
義務教育等施設	小学校、中学校(校内の体育館を含む。)	1	2	3	4
子育て支援施設	公立保育園、こども未来館 など	1	2	3	4
福祉施設	老人福祉センター、陶芸館 など	1	2	3	4
医療保健施設	上天草総合病院、教良木診療所、湯島へき地診療所	1	2	3	4
行政施設	上天草市役所大矢野・松島庁舎、姫戸・龍ヶ岳支所、各出張所	1	2	3	4

※ 各町の旧大字は、以下のとおりです。

大矢野町 (登立、上、中、維和、湯島)	／	松島町 (阿村、今泉、内野河内、教良木)
姫戸町 (姫浦、二間戸)	／	龍ヶ岳町 (大道、高戸、樋島)

### 問2の回答結果

	集会施設	文化施設	社会教育施設	スポーツ・レクリエーション施設	商工観光施設	義務教育等施設	子育て支援施設	福祉施設	医療保健施設	行政施設
同じ旧大字内にある	84	10	16	20	21	40	15	24	16	47
同じ町内にある	112	56	100	145	118	124	85	95	60	193
隣の町にある	2	32	24	26	57	5	21	20	54	13
隣の町ではないが市内にある	5	43	13	24	62	6	13	9	78	7
未記入	117	179	167	105	62	145	186	172	112	60

- ・同じ旧大字内にある及び同じ町内にあると回答した人の割合は、行政施設 240 人 (75.0%)、スポーツ・レクリエーション施設 165 人 (51.6%)、義務教育等施設 164 人 (51.3%) の順である。
- ・隣の町にあると回答した人は、商工観光施設 57 人 (17.8%)、医療施設 54 人 (16.9%)、文化施設 32 人 (10.0%) の順である。
- ・隣の町ではないが市内にあると回答した人は、医療施設 78 人 (24.3%)、商工観光施設 62 人 (19.4%)、文化施設 43 人 (13.4%) の順である。

問3 問1で「5. 過去一年以内には利用していない」または「6. 今までに一度も利用したことがない」と回答された方は、その主な理由を施設機能ごとに1つ選んで番号に○を付けてください。

施設分類	施設例  (各施設分類にどのような公共施設が当てはまるのかについては、別紙「上天草市の地区別公共施設二覧表(参考)」を参考に回答してください。)	1・施設の存在やサービス内容を知らない	2・利用する必要性がない	3・サービス、利用時間などの条件が合わない	4・施設の利用料や使用料が高い	5・他の自治体や国、民間の施設を利用している	6・住まいからの距離が遠い
集会施設	多目的集会施設、集会所、コミュニティセンター、公民館 など	1	2	3	4	5	6
文化施設	天草四郎ミュージアム など	1	2	3	4	5	6
社会教育施設	大矢野森記念図書館、中央図書館、姫戸図書館、龍ヶ岳図書館	1	2	3	4	5	6
スポーツ・レクリエーション施設	大矢野総合体育館、松島総合センターアロマ、スパ・タラソ天草、前島観光拠点施設、各キャンプ場、各体育館 など	1	2	3	4	5	6
商工観光施設	さんばーる など	1	2	3	4	5	6
義務教育等施設	小学校、中学校(校内の体育館を含む。)	1	2	3	4	5	6
子育て支援施設	公立保育園、こども未来館 など	1	2	3	4	5	6
福祉施設	老人福祉センター、陶芸館 など	1	2	3	4	5	6
医療保健施設	上天草総合病院、教良木診療所、湯島へき地診療所	1	2	3	4	5	6
行政施設	上天草市役所大矢野・松島庁舎、姫戸・龍ヶ岳支所、各出張所	1	2	3	4	5	6

問3 回答結果

	集会施設	文化施設	社会教育施設	スポーツ・レクリエーション施設	商工観光施設	義務教育等施設	子育て支援施設	福祉施設	医療保健施設	行政施設
施設の存在やサービス内容を知らない	14	17	13	4	7	10	18	25	1	7
利用する必要性がない	134	205	156	103	32	181	221	180	81	45
サービス・利用時間の条件が合わない	10	13	28	22	9	7	3	11	10	10
利用料や使用料が高い	1	6	0	3	1	0	0	0	3	0
他の自治体や国、民間の施設を利用する	4	4	6	2	3	2	6	1	22	2
住まいからの距離が遠い	13	30	23	31	32	7	10	14	49	10
未記入	144	45	94	155	236	113	62	89	154	246

・施設利用をしない理由について、利用する必要性がないと答えた人がすべての施設において一番多い回答となり、施設全体で延べ1,338人(41.8%)である。続いて、住まいからの距離が遠い219人(6.8%)、サービス・利用時間の条件が合わない123人(3.8%)の順となる。

問4 あなたは、市の公共施設の現状や課題についてどのくらい関心をお持ちですか？  
該当する番号を1つ選び、数字に○を付けてください。

- 1 強い関心を持っている
- 2 少し関心を持っている
- 3 あまり関心を持っていない
- 4 全く関心を持っていない

問5 市の多くの施設が老朽化し、一斉に更新時期を迎えようとしています。このような状況は本市のみならず、全国の自治体で同様の問題となっており、「公共施設更新問題」と呼ばれています。あなたは、この問題をご存知でしたか？  
該当する番号を1つ選び、数字に○を付けてください。

- 1 よく知っている
- 2 なんとなく知っている
- 3 知らない

問6 本市では、公共施設を総合的かつ計画的に管理するために「公共施設等総合管理計画」を策定し、市ホームページで公表しています。あなたは、このことをご存知でしたか？  
該当する番号を1つ選び、数字に○を付けてください。

- 1 読んだ
- 2 知っているが、読んでいない
- 3 知らなかった

■ 問4の回答結果

強い関心を持っている	38
少し関心を持っている	141
あまり関心を持っていない	111
全く関心を持っていない	20
未記入	10

- ・強い関心を持っている及び少し関心を持っていると答えた人は、179人（55.9%）いた。
- ・あまり関心を持っていない及び全く関心を持っていないと答えた人は、131人（40.9%）いた。

■ 問5の回答結果

よく知っている	47
なんとなく知っている	163
知らない	102
未記入	8

- ・よく知っている及び何となく知っていると答えた人は、210人（65.6%）いた。
- ・知らないと答えた人は、102人（31.9%）いた。

■ 問6の回答結果

読んだ	26
知っているが、読んでいない	73
知らなかった	212
未記入	9

- ・読んだと答えた人は、26人（8.1%）いた。
- ・知っているが読んでいない及び知らなかったと答えた人は、285人（89.1%）いた。

問7 近い将来、少子高齢化や人口減少が進み、財政運営が厳しくなることが予想されます。また、人口構成や社会状況の変化により、求められるサービスや量が変化していくことも想定されます。

そこで、将来を見据えて公共施設のあり方を見直していく（施設の廃止や統合を含む。）ことについてどのようにお考えですか？

あなたの考えに一番近いものを1つ選び、数字に○を付けてください。

- 1 積極的に見直すべきである ⇒問9へ
- 2 将来の状況を考えると見直すことはやむを得ない ⇒問9へ
- 3 見直すべきではない（公共施設は今までどおり維持すべき） ⇒問8へ
- 4 見直すべきではない（公共施設はもっと増やすべき） ⇒問8へ

問8 問7で「3. 見直すべきではない（公共施設は今までどおり維持すべき）」または「4. 見直すべきではない（公共施設はもっと増やすべき）」を選択された方にお伺いします。

限られた財源の中で公共施設を今までどおり維持または増やすため、今後どのようにしていくべきとお考えですか？

あなたの考えに一番近いものを1つ選び、数字を記入してください。

- 1 他の行政サービスを削減して財源を確保する
- 2 増税して財源を確保する
- 3 地方債を発行するなど借金をして財源を確保する
- 4 施設の利用料や使用料を高くして財源を確保する
- 5 その他（ ）

#### ■ 問7の回答結果

積極的に見直すべき	89
見直すことはやむを得ない	200
見直すべきではない（施設を維持すべき）	14
見直すべきではない（施設を増やすべき）	0
未記入	17

- ・ 積極的に見直すべき又は見直すことはやむを得ないと答えた人は、289人（90.3%）いた。
- ・ 見直すべきではないと答えた人は、14人（4.4%）いた。

#### ■ 問8の回答結果

他の行政サービスを削減して財源確保	7
増税して財源確保	1
地方債を発行するなど借金をして財源確保	2
施設利用料や使用料を高くして財源確保	0
その他	1
未記入	3

- ・ 公共施設のあり方を見直すべきでないと答えた14人のうち、公共施設の維持又は増やすためには、増税や市の借金よりも、他の行政サービスを削減して財源確保すると答えた人が半数（7人）を占めている。

問9 限られた財源の中で全ての施設を維持していくことは困難な状況の中、施設による従来の行政サービスのあり方を見直していく必要があります。下表の方策は一例ですが、あなたは各方策についてどのように考えますか。

あなたの考えに一番近いものを方策ごとに1つ選び、数字に○を付けてください。

方 策	1・実施すべきである	2・どちらかといえば実施すべきである	3・どちらかといえば実施すべきでない	4・実施すべきでない
①【適正規模化】 人口減少に合わせて、現在ある施設の総量を削減していく。	1	2	3	4
②【複合化】 現在ある施設を複合化（※）によって集約する（1棟にまとめる）。	1	2	3	4
③【長寿命化】 現在ある施設を計画的に改修し、できるだけ長く使用する。	1	2	3	4
④【使用料の引上げ】 利用する人と利用しない人の負担の公平性の観点から、受益者負担（施設使用料）を増やして施設を維持していく。	1	2	3	4
⑤【売却または貸付け】 施設の廃止等により、余剰となった土地や建物は売却または貸付けし、その収入を施設の改修等の費用に充てる。	1	2	3	4
⑥【民間活力の導入】 施設の整備や運営に、民間のノウハウや資金を活用する。	1	2	3	4
⑦【民間活力の導入】 民間施設でも提供可能なサービスは、市がその利用料を一部助成するなどした上で、民間に委ねる。	1	2	3	4
⑧【共同利用】 近隣の自治体と共用できる施設は、総合した上で、共同で管理運営を行う。	1	2	3	4
⑨【地域移譲】 地域に密着した施設は、地域住民等に譲渡し、地域で維持管理を行う。	1	2	3	4
⑩ほかの行政サービスを圧縮して、施設の管理運営に充てる財源を捻出する。	1	2	3	4

※複合化とは、一つの建物に複数の施設があること。

例：松島総合センターアロマ（スポーツ・レクリエーション施設と図書館が一つの建物）

### ■ 問9の回答結果

	適正規模化	複合化	長寿命化	使用料の引上げ	売却または貸付け	民間活力の導入①	民間活力の導入②	共同利用	地域移譲	財源の捻出
実施すべき	104	102	89	54	142	112	90	95	48	28
どちらかといえば実施すべき	147	137	116	94	111	127	157	146	110	86
どちらかといえば実施すべきではない	29	32	49	99	19	29	22	33	78	119
実施すべきでない	9	13	30	39	12	14	16	10	41	43
未記入	0	5	5	3	5	7	4	5	12	13

- ・公共施設のあり方を見直すべき、見直すことはやむを得ないと答えた289人のうち、方策を実施すべき及びどちらかといえば実施すべきと回答した人は、売却又は貸付け253人（87.5%）、適正規模化251人（86.9%）、民間活力の導入（民間施設でも提供可能なサービスは、市がその利用料を一部助成するなどした上で、民間に委ねる。）47人（85.5%）の順である。
- ・公共施設のあり方を見直すべき、見直すことはやむを得ないと答えた289人のうち、どちらかといえば実施すべきではない及び実施すべきでないと回答した人は、財源の捻出162人（56.1%）、使用料の引き上げ138人（47.8%）、地域移譲119人（41.2%）の順である。

問 10 本市が将来にわたり優先的に維持すべきと考える公共施設の機能を、以下の中から最大3つまで選び、数字に○を付けてください。

- 1 集会機能（多目的集会施設、集会所、コミュニティセンター、公民館 など）
- 2 文化機能（天草四郎ミュージアム など）
- 3 社会教育機能（大矢野森記念図書館、中央図書館、姫戸図書館、龍ヶ岳図書館）
- 4 スポーツ・レクリエーション機能（大矢野総合体育館、松島総合センターアロマ、スパ・タラソ天草、前島観光拠点施設、各キャンプ場、各体育館 など）
- 5 商工観光機能（上天草市物産館さんぱーる など）
- 6 義務教育機能（小学校、中学校（校内の体育館を含む。））
- 7 子育て支援機能（公立保育園、子ども未来館）
- 8 福祉機能（老人福祉センター、陶芸館 など）
- 9 医療保健機能（上天草総合病院、教良木診療所、湯島へき地診療所）
- 10 行政機能（上天草市役所大矢野・松島庁舎、姫戸・龍ヶ岳統括支所、各出張所）
- 11 防災機能（消防ポンプ格納庫）
- 12 公営住宅機能（市営住宅）

問 11 公共施設の再編を行い施設の数減らしていかなければならなくなった場合、あなたはどのような施設から重点的に見直していくべきとお考えですか？以下の中から最大3つまで選び、数字に○を付けてください。「その他」を選んだ場合は、（ ）に内容を記載してください。

- 1 利用者が少ない施設
- 2 維持費用に多くの経費がかかっている施設
- 3 建物や設備の老朽化が進んでいる施設
- 4 利用者が固定化していて一部の個人・団体が使うことが多い施設
- 5 近い範囲に同じような公共施設が重複している施設
- 6 民間で同様のサービスが提供されている施設
- 7 交通の便が悪い場所にある施設
- 8 その他（ ）

■ 問 10 の回答結果

集会機能	81
文化機能	9
社会教育機能	23
スポーツ・レクリエーション機能	117
商工観光機能	107
義務教育機能	115
子育て支援機能	54
福祉機能	33
医療保健機能	170
行政機能	129
防災機能	44
公営住宅機能	11
未記入	67

【順位】

- 1 医療保健機能
- 2 行政機能
- 3 スポーツ・レクリエーション機能
- 4 義務教育機能
- 5 商工観光機能
- 6 集会機能
- 7 子育て支援機能
- 8 防災機能
- 9 福祉機能
- 10 社会教育機能
- 11 公営住宅機能
- 12 文化機能

■ 問 11 の回答結果

利用者が少ない施設	220
維持費用に多くの経費がかかっている施設	165
建物や設備の老朽化が進んでいる施設	133
利用者が固定化している施設	63
同じような施設が重複している施設	131
民間で同様のサービスが提供されている施設	69
交通の便が悪い場所にある施設	77
その他	6
未記入	96

【順位】

- 1 利用者が少ない施設
- 2 維持費用に多くの経費がかかる施設
- 3 老朽化が進んでいる施設



問 12 小・中学校の余裕教室の有効活用についてお伺いします。

本市の公共施設のうち約4割が小・中学校となっています。一方、少子化による児童・生徒数の減少が進み、学級数が減って余裕教室が生じることが予想されます。そこで、児童・生徒の安全面に配慮したうえでほかの他施設と複合化するなど、学校施設の地域利用を進めることについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選び、数字に○を付けてください。

- 1 積極的に推進すべきである
- 2 どちらかといえば推進すべきである
- 3 どちらかといえば推進すべきでない
- 4 推進すべきでない

問 13 これからの公共施設のあり方について、ご意見があればご記入ください。

( )

■ 問 12 の回答結果

積極的に推進すべき	124
どちらかといえば推進すべき	126
どちらかといえば推進すべきでない	32
推進すべきでない	13
未記入	25

- ・小学校の余裕教室の有効活用については、積極的に推進すべき及びどちらかといえば推進すべきと答えた人が 250 人 (78.1%) いた。

■ 問 13 の回答結果

- ・この問は、自由意見であり、参考となる意見については、今後の本市の公共施設のあり方の検討に活用させていただきます。

◆ 回答者の属性

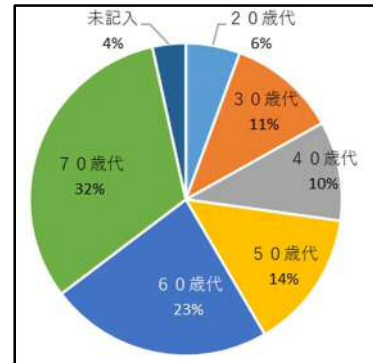
(1) 性別

- ・ 男性 125人
- ・ 女性 184人
- ・ 未記入 11人



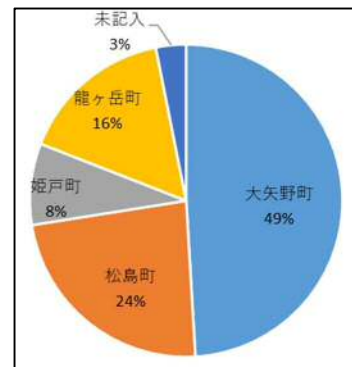
(2) 年齢

- ・ 20歳代 18人
- ・ 30歳代 36人
- ・ 40歳代 33人
- ・ 50歳代 46人
- ・ 60歳代 74人
- ・ 70歳以上 102人
- ・ 未記入 11人



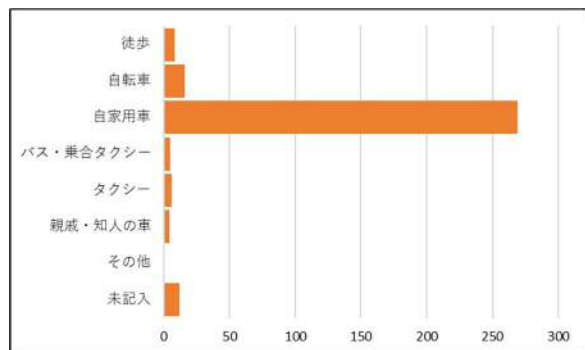
(3) 住居 (町名)

- ・ 大矢野町 157人
- ・ 松島町 75人
- ・ 姫戸町 27人
- ・ 龍ヶ岳町 51人
- ・ 未記入 10人



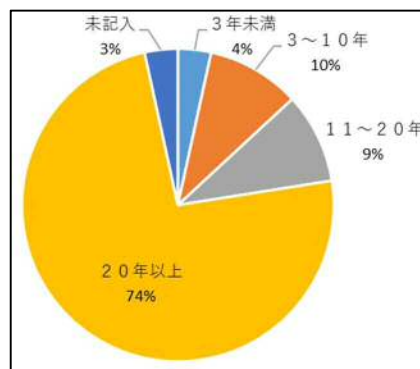
(4) 普段の交通手段

- ・ 徒歩 8人
- ・ 自転車 16人
- ・ 自家用車 269人
- ・ バス、乗合タクシー 5人
- ・ タクシー 6人
- ・ 親戚・知人の車 4人
- ・ その他 1人
- ・ 未記入 12人



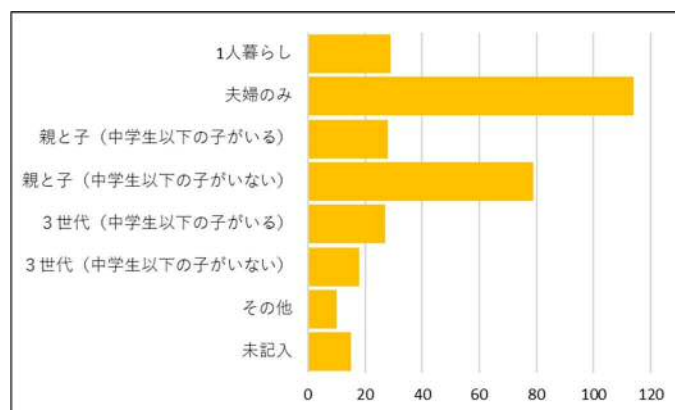
(5) 居住期間

・ 3年未満	11人
・ 3～10年	31人
・ 11～20年	30人
・ 20年以上	237人
・ 未記入	11人



(6) 家族構成

・ 一人暮らし	29人
・ 夫婦のみ	114人
・ 親と子 (中学生以下の子がいる)	28人
・ 親と子 (中学生以下の子がいない)	79人
・ 3世代 (中学生以下の子がいる)	27人
・ 3世代 (中学生以下の子がいない)	18人
・ その他	10人
・ 未記入	15人



(7) 職業

・ 会社員	93人
・ 自営業	41人
・ パート、アルバイトなど	46人
・ 家事専業 (主婦・主夫)	35人
・ 学生	7人
・ 無職	75人
・ その他	12人
・ 未記入	11人

